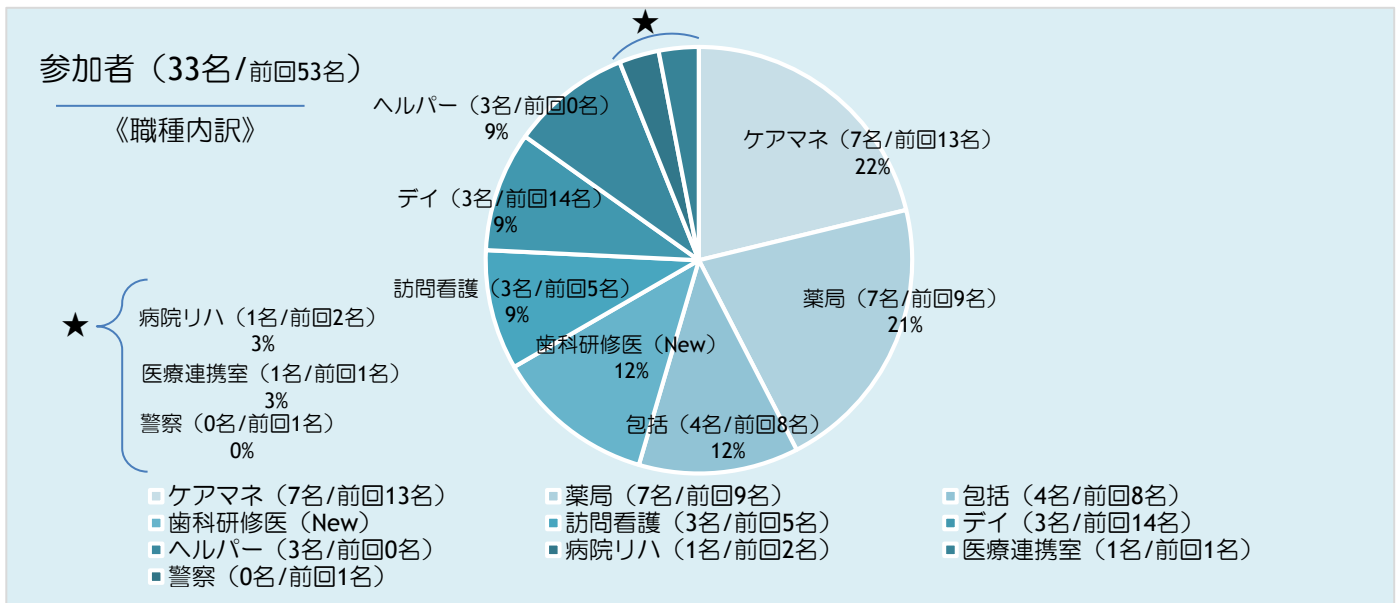


# 令和5年度第2回多職種連携交流会アンケート結果



令和5年12月15日（金）18：15～20：00 開催分



【 アンケート提出者 33名 】回収率：100%

## 問1 あなたの所属について教えてください。

1. 訪問看護事業所（3名）
2. 薬局（7名）
3. 居宅介護支援事業所（7名）
4. 地域包括支援センター（4名）
5. 訪問介護事業所（3名）
6. 通所介護事業所（3名）
7. 病院（医療連携室/リハビリ）（2名）
8. 病院（歯科研修医）（4名）

## 問2 研修(講義)は今後の業務の参考になりましたか？

1. 参考になった（30名）
2. どちらともいえない（3名）
3. 参考にならなかった（0名）

## 問3 今後の交流会のテーマについて(複数回答可)

1. 認知症支援について（16名）
2. 看取り期支援について（20名）
3. その他（10名）
  - ・身寄りのない人への支援（2名）
  - ・難病支援（当事者や家族の生の声も聞いてみたい）（2名）
  - ・各事業所の特色について知りたい
  - ・事業所での困りごととそれに対するの対応
  - ・わがままな高齢者への対応
  - ・ゆるく事例検討
  - ・インフォーマルサービス
  - ・薬の管理が困難な方への支援
  - ・つながることへの無限性

## 問4 交流会の感想について

- ・多職種協働の重要性を再確認できた。お互いに相談のしやすい関係を作っていけるとよい。(薬局)
- ・多職種の連携が必須となってきており、顔の見える関係性を築く機会に出席でき、とても勉強になった。テーマが具体的に定まっていないことでフリートークできた。まとまりのない結末という印象も。(訪問看護)
- ・多職種の役割と相談の導線を知ることができて参加してよかった。(訪問看護)
- ・地域で活躍されている多職種の方の話を知ることができて勉強になった。(病院 MSW) (歯科研修医)
- ・知らない世界を知ることができた。(病院 MSW)
- ・多職種と関わる機会があるといろいろな情報を聞くことができてよかった。(ケアマネ)
- ・普段、かかわらない方と話すことができて刺激になった。(包括)
- ・薬剤師からの新しい薬の情報、病院の SW から現状を聞くことができてよかった。(訪問看護)
- ・歯科(研修)医の方と話す機会があつてよかった。(訪問看護)
- ・薬局の方と直接話す機会がないのでよい機会になった。(訪問看護)(薬局)
- ・認知症のテーマでフリートークはどの業種でもネックになっているので、話しあえたり、同じ悩みを共有できるのはよい。(通所介護)
- ・楽しく話すだけで十分。少し物足りなかった。(包括)
- ・フリートークとケースに対しての支援のアイデアを出し合う2本立てがよい。お互いの立場を相互理解してからそれを生かして具体策を出し合いたい。(包括)
- ・認知症初期集中支援チームがどのような活動をしているのか知りたかった。何を伝えたいのかわからなかった。薬局の方の話は参考になった。(通所介護)
- ・薬局が介入できないときや状況が確認できないときは、連携して教えてもらおうと思った。こちらからもフィードバックしたいと思った。利用者にとってのベストを探していければ最初から正解はないと感じた。(薬局)
- ・同じ地域で働いていても直接話す機会がない方たちとお話させていただくことができ、考えを知ることができたのは非常によかった。(歯科研修医)
- ・日中開催のほうありがたい。(病院)(ケアマネ)

### 【講義風景】



### 【グループトーク風景】

